Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

News Letter to Arts Crew

5月号—No.277
2018.4.25
（毎月1回25日発行）

【洒落柿(しゃれがき)】淡い柿色。

「晒柿(されがき)」をもじった色名。晒されて白っぽくなったような淡い柿色のこと。古くから生活に根ざしていた柿にまつわる色名は多く、庭先の柿の色の変化を見ながらいろいろなことに思いを馳せていたのではないだろうか。

●目次／*contents*

今月のニュース……2
一般財団法人地域創造
平成30年度 事業紹介・事業スケジュール
平成30年度 事業計画
平成30年度 助成決定／助成事業一覧
財団からのお知らせ……9
平成31年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」実施団体募集／平成31年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」実施団体募集／平成29年度事業報告書ウェブサイト公開のお知らせ／平成29年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」終了報告
今月の情報……11
地域通信
今月のレポート……12
兵庫県伊丹市　第32回伊丹市民オペラ定期公演『セヴィリアの理髪師』

発行元：一般財団法人地域創造
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11
オリックス赤坂2丁目ビル9F
Tel. 03-5573-4068　Fax. 03-5573-4060
URL: http://www.jafra.or.jp/

平成30年度 地域創造 事業紹介

一般財団法人地域創造の平成30年度の事業計画が決定しました(P4参照)。今年度も文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりを図るため、以下のような事業を実施してまいります。今後ともより一層のご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

●研修交流事業

公立ホール・劇場の職員や自治体の文化担当職員の方々を対象とした研修事業「ステージラボ」を、今年度は7月に滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールを会場に実施します。公立美術館の職員等を対象としたオーダーメイド型の「公立美術館地域展開型研修事業」は、札幌芸術の森美術館と熊本県立美術館を会場に各館数回ずつ実施します。

また、市町村長および文化行政担当幹部職員を対象とした「市町村長セミナー」(4月・千葉市、11月・大津市)、「文化政策幹部セミナー」(今年秋を予定)を実施し、地域における文化・芸術活動についての理解を深めていただきます。

演劇の手法を使ったワークショッププログラムを行う「リージョナルシアター事業」は、9団体で実施し、それぞれの地域の課題に取り組みます。

●公共ホール等活性化支援事業

「公共ホール音楽活性化事業」(通称:おんかつ)は、今年度は11団体で実施します。おんかつ経験館が自主的に取り組む企画を支援する「おんかつ支援事業」には16団体、文化庁の芸術家派遣事業と連携した「文化庁連携事業」には9団体が参加します。また、普及啓発プログラムでは、都道府県が県内の市町村と連携し、アウトリーチ事業を普及することを目的に開催している「アウトリーチフォーラム」については、2か年度事業の2年目を迎える鹿児島県で市町村公演を、1年目の秋田県でシンポジウムを実施します。

「公共ホール現代ダンス活性化事業」(通称:ダン活)は、今年度は15団体[Aプログラム(地域交流プログラム)11団体、Bプログラム(市民参加作品創作プログラム)3団体、Cプログラム(公演プログラム)1団体]で実施します。また、ダン活経験館が自主的に取り組む企画を支援する「ダン活支援事業」には2団体が参加します。

複数の公共ホールが共同・連携して演劇作品の上演を行う「演劇ネットワーク事業」は、8月から2月にかけて7団体で実施します。

「邦楽地域活性化事業」は広島県で開催。県内3市で地域交流プログラムを展開します。

公立美術館活性化事業のうち「市町村立美術館活性化事業」では、「小杉放菴記念日光美術館所蔵　絵画で国立公園めぐり―巨匠が描いた日本の自然」が4月より廿日市市、瀬戸市、小金井市、釧路市を巡回。「公立美術館共同巡回展開催助成事業」では、2か年プログラムの「創立100周年記念　国画創作協会の全貌」展が9月より笠岡市、和歌山市、新潟市、単年度プログラムの出版100年記念「有島武郎『生れ出づる悩み』と画家・木田金次郎」展が7月より府中市、ニセコ町、岩内町、地域連携展「おおいた美術散歩」が10月より大分市、宇佐市、臼杵市、中津市を巡回します。

助成プログラムのうち、「地域の文化・芸術活動助成事業」では、創造、連携、研修の3つのプログラムで、計149団体に対し助成します。

また、「地域伝統芸能等保存事業」では、地方フェスティバル事業、映像記録保存事業、保存・継承活動支援事業の3事業で、計32団体に対し助成します(詳細はP5参照)。

●調査研究事業

平成30年度は、「公立文化施設の管理運営状況における実地調査(仮)」の実施を予定しています。公立文化施設の現地調査等を行い、その成果をとりまとめます。

●地域創造フェスティバル／地域伝統芸能まつり

今年の「地域創造フェスティバル」は、東京芸術劇場で7月31日と8月1日の2日間で開催します。おんかつ支援、ダン活の登録アーティ

ストによるプレゼンテーションのほか、各種セミナー等を開催します。

また、今年で19回目を迎える「地域伝統芸能まつり」は2月にNHKホールで開催します。日本各地で脈々と受け継がれている地域伝統芸能と古典芸能を一堂に会して紹介する貴重な機会です。

研修交流事業および公共ホール等活性化支援事業につきましては、下記のスケジュールもご参照ください。また各事業の詳細は、適宜、本紙「財団のお知らせ」および当財団ウェブサイトで告知しますので、併せてご活用ください。

平成30年度 地域創造事業スケジュール

	公共ホール・公立美術館活性化事業／研修交流事業　等	要綱発行・募集
4月	●30年度 公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト公開プレゼンテーション（HAKUJUホール／24日） ●市町村長セミナー（市町村アカデミー／19日、20日） ●公共ホール音楽活性化支援事業開始（全国16カ所／～2019年3月） ●29・30年度 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業開始（鹿児島県／～2019年2月） ●29・30年度 市町村立美術館活性化事業「小杉放菴記念日光美術館所蔵　絵画で国立公園めぐり―巨匠が描いた日本の自然―」展開始（全国4カ所／～11月）	●ステージラボ滋賀セッション参加者募集 ●31年度 公共ホール現代ダンス活性化事業実施団体募集 ●31年度 公共ホール演劇ネットワーク事業代表団体募集
6月	●30年度 公共ホール現代ダンス活性化事業開始（全国15カ所／～2019年3月） ●30・31年度 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業開始（秋田県）	●30年度 地域創造大賞（総務大臣賞）募集 ●公立美術館共同巡回展開催助成事業（31・32年度2か年プログラム、31年度単年度プログラム）募集 ●31・32年度 市町村立美術館活性化事業参加館募集 ●31年度 公立美術館共同地域交流プログラム助成事業募集 ●31年度 公立美術館共同巡回展企画支援事業募集 ●31年度 リージョナルシアター事業実施団体募集 ●30年度 文化政策幹部セミナー参加者募集（予定） ●30年度 ステージラボ「公立ホール・劇場マネージャーコース」参加者募集（予定）
7月	●ステージラボ滋賀セッション（滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール／3日～6日） ●30年度 リージョナルシアター事業開始（全国9カ所／～2019年2月） ●30年度 公立美術館共同巡回展開催助成事業　出版100年記念「有島武郎『生れ出づる悩み』と画家・木田金次郎」展開始（全国3カ所／～2019年3月） ●30年度 公共ホール音楽活性化文化庁連携事業開始（全国9カ所／～12月） ●31年度 公共ホール現代ダンス活性化事業全体研修会（東京芸術劇場／30日～8月1日） ●地域創造フェスティバル（東京芸術劇場／31日～8月1日）	●31年度 邦楽地域活性化事業実施団体募集 ●31年度 公共ホール音楽活性化事業実施団体募集 ●31・32年度 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業実施団体募集 ●31年度 公共ホール音楽活性化支援事業実施団体募集 ●31年度 公共ホール音楽活性化支援文化庁連携事業実施団体募集 ●31年度 政令指定都市アウトリーチセミナー事業実施団体募集 ●31年度 地域の文化・芸術活動助成事業／地域伝統芸能等保存事業助成団体募集
8月	●30年度 邦楽地域活性化事業開始（広島県／～2019年1月）（予定） ●30年度 演劇ネットワーク事業開始（全国7カ所／～2019年2月）	
9月	●30年度 公共ホール音楽活性化事業開始（全国11カ所／～2019年3月）（予定） ●29・30年度 公立美術館共同巡回展開催助成事業「創立100周年記念　国画創作協会の全貌」展開始（全国3カ所／～2019年2月）	●31年度 公共ホール現代ダンス活性化支援事業実施団体募集
10月	●30年度 公立美術館共同巡回展開催助成事業 地域連携展「おおいた美術散歩」開始（大分県内4カ所／～2019年2月） ●30年度 文化政策幹部セミナー（地域創造／日程調整中） ●30年度 ステージラボ「公立ホール・劇場マネージャーコース」（地域創造／日程調整中）	●31・32年度 公立美術館地域展開型研修事業実施館募集
11月	●市町村長セミナー（国際文化アカデミー／1日、2日） ●公共ホール現代ダンス活性化支援事業開始（全国2カ所／～2019年1月）	
12月	●雑誌「地域創造」第44号発行（20日）	
1月	●30年度 地域創造大賞（総務大臣賞）表彰式（都内／18日）	
2月	●第19回「地域伝統芸能まつり」（NHKホール）	

平成30年度 地域創造メンバー

※4桁の数字は、03-5573に続く番号です

●顧問
森　繁一（もり・しげいち）　4050
●会長
遠藤安彦（えんどう・やすひこ）　4050
●理事長
板倉敏和（いたくら・としかず）　4050
●常務理事
石川善朗（いしかわ・よしろう）　4050
●監事
鹿村謙太郎（しかむら・けんたろう）　4050
●事務局長
羽生雄一郎（はにゅう・ゆういちろう）　4061

●総務部
◎総務部長
深沢裕治（ふかさわ・ゆうじ）　4051
◎総務課長
鈴木健一（すずき・けんいち）　4052
◎総務課
岡村　毅（おかむら・たけし）　4173
大堀洋子（おおほり・ようこ）　4050
米田裕子（よねだ・ひろこ）　4072
岩﨑百代（いわさき・ももよ）　4065
長谷川美奈子（はせがわ・みなこ）　4058
西山芽衣子（にしやま・めいこ）　4054
◎助成・表彰担当
川口千明（かわぐち・ちあき）　4164
◎伝統芸能担当
米山沙里（よねやま・さり）　4056
◎美術担当
高野英江（たかの・はなえ）　4143
高澤佑貴（たかさわ・ゆうき）　4068

●芸術環境部
◎企画課長
佐倉　誠（さくら・まこと）　4063
◎人材育成・調査研究・情報発信担当
高澤佑貴（たかさわ・ゆうき）　4068
勝田　全（かつた・あきら）　4093
三田真由美（みた・まゆみ）　4066
◎音楽担当
菊地俊孝（きくち・としたか）　4064
[邦]仕田佳経（しだ・よしのり）　4078
山居美帆（やまずい・みほ）　4069
佐藤良子（さとう・よしこ）　4185
◎ダンス担当
■栗林礼也（くりばやし・ゆきや）　4055
岩藤容子（いわとう・ようこ）　4077
佐藤康平（さとう・こうへい）　4075
◎演劇担当
■水上俊秀（みずかみ・としひで）　4079
梅田知孝（うめだ・ともたか）　4076
藤原加奈（ふじわら・かな）　4124
◎プロデューサー
津村　卓（つむら・たかし）　4062
児玉　真（こだま・しん）　4168

■…ディレクター
[邦]…邦楽担当

●平成30年度 一般財団法人地域創造事業計画

Ⅰ　事業の目的

地域住民が良質な文化・芸術を創造し、享受することができるようなゆとりと潤いに満ちた健やかな地域社会の実現に資するため、地方公共団体との緊密な連携の下に、地域における創造的な文化・芸術活動のための環境づくり等に資する事業等を行い、もって美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的とする。

Ⅱ　事業の内容

平成30年度において、次の事業を実施する。

1. 研修交流事業

地域の文化・芸術環境づくりに取り組む公共ホール、劇場、美術館等の職員及び地方公共団体の職員等を対象とした研修交流事業を次のとおり実施する。

(1)ステージラボ

事業の企画制作能力等の向上を図るため、地域の公共ホール・劇場及び文化・芸術に携わる地方公共団体の職員を対象とした研修「ステージラボ」を実施する。

(2)公立美術館地域展開型研修事業

実践的な運営能力の向上及び公立美術館の相互交流の促進を図るため、公立美術館の職員等を対象に、現場の要望に沿ったオーダーメイドによる出前型研修を実施する。

(3)文化政策セミナー

地域における文化・芸術活動についての理解を深めるため、市町村長及び地方公共団体の文化行政担当幹部職員を対象にセミナー等を実施する。

(4)都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議

文化・芸術振興等についての理解を深め、地域創造と各地方公共団体との連携を一層強化するため、都道府県及び政令指定都市の文化行政担当課長等を対象に意見交換等を実施する。

(5)リージョナルシアター事業

地域交流プログラム(※)の実施に必要な基礎知識と共通認識の習得及び地域に根ざした企画能力等の向上を図るため、研修会を実施後、公共ホールに派遣した演劇の表現者とともに公共ホールの職員が地域に応じたプログラムを企画、検討し、地域で演劇の手法を活用したワークショップを実施する。

※地域交流プログラム…学校に出向いてのアウトリーチや公共ホールでの公募型ワークショップなどを通じて、地域住民との交流を図る取り組み。

2. 公共ホール等活性化支援事業

(1)公共ホール音楽活性化事業

地域においてクラシック音楽を身近なものとすることにより地域文化の活性化を図るとともに、地域の文化事業担当職員の企画・制作能力を高める人材育成に資するため、公演や地域交流プログラムを実施する。

①通常プログラム

市町村との共催により、クラシック音楽に触れる機会の少ない地域にアウトリーチコンサート等を提供し、公共ホールの担当者がアウトリーチの企画・制作に必要な実践的なノウハウを修得することを目的として、研修会、クラシック音楽と身近にふれあうコンサート及び地域交流プログラムを実施する。

②-1 支援プログラム

(助成率:1年目2/3以内、2年目1/3以内、発展継続支援プログラム1/2以内)

通常プログラムを実施した市町村がそのノウハウを活用して引き続き実施するクラシック音楽と身近にふれあうコンサート及び地域交流プログラムに対して支援を行う。

-2 文化庁連携事業

(助成率:1年目8/10以内、2年目2/3以内、3年目1/2以内、4-5年目1/3以内)

音楽分野における、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)」の助成を受けて「アウトリーチ事業」を実施する学校と、地域創造の「音楽活性化支援事業」の実施経験がある公共ホールが連携することにより、これまでのノウハウを活かした効果的なアウトリーチを実施する。また、公共ホールの一層の活性化を図るため、「公演事業」に対して支援を行う。

③普及啓発プログラム

都道府県等と連携し、実施ホールの企画・制作担当者や派遣演奏家等を対象とした研修事業及びクラシック音楽と身近にふれあうコンサートと地域交流プログラムを組み合わせた市町村での公演事業等を実施する(アウトリーチフォーラム)。

(2)公共ホール現代ダンス活性化事業

地域において現代ダンスを身近なものとすることにより地域文化の活性化を図るとともに、地域の文化事業担当職員の企画・制作能力を高める人材育成に資するため、公演や地域交流プログラムを実施する。

①通常プログラム

地方公共団体等との共催により、現代ダンスに触れる機会の少ない地域にダンス公演等を提供し、公共ホールの担当者がアウトリーチの企画・制作に必要な実践的なノウハウを修得することを目的として、研修会、現代ダンスの公演及び地域交流プログラムを発展的・継続的に実施する(最大3年間)。

②支援プログラム

(助成率:1年目2/3以内、2年目1/3以内)

通常プログラムを実施した市町村がそのノウハウを活用して引き続き実施する現代ダンスの公演及び地域交流プログラムに対して支援を行う。

(3)公共ホール演劇ネットワーク事業(助成率:2/3以内)

公共ホールの情報発信能力の向上を図るとともに、地域の演劇分野における環境づくりを通じて創造性豊かな地域づくりに資するため、複数の公共ホールが共同・連携して実施する演劇公演及び演劇の手法を活用した地域交流プログラムに対して支援を行う。

(4)邦楽地域活性化事業

日本の伝統音楽の継承・発展、都道府県域内の公共ホールの連携促進や職員の企画・制作能力の向上を図るため、公共ホールの担当者、参加演奏家等を対象とした研修プログラム、公共ホールを拠点とした邦楽による地域交流プログラム及び公演を実施する。

(5)公立美術館活性化事業

公立美術館の企画制作能力の向上、連携の促進、所蔵作品の利活用等を図るため、共同巡回展の実施を支援する。

①市町村立美術館活性化事業

(助成率:準備年度1/1以内、開催年度2/3以内)

地域創造が提示する企画に基づいて複数の市町村立美術館が実施する共同巡回展に対して支援を行うもので、平成30年度は、開催支援並びに平成31年度開催の共同巡回展の準備への支援を行う。

②公立美術館共同巡回展開催助成事業

-1　2か年プログラム

(助成率:準備年度・開催年度共2/3以内)

3館以上の公立美術館が自主的な企画・制作により、公立美術館の所蔵作品等を活用した共同巡回展の準備及び実施に係る経費に対して助成を行う。

-2　単年度プログラム(助成率:2/3以内)

3館以上の公立美術館が自主的な企画・制作により、公立美術館の所蔵作品等を活用した共同巡回展の実施に係る経費のうち、作品借用・展示に係る経費、または共同巡回展カタログ作成に係る経費に対して助成を行う。

③公立美術館共同巡回展企画支援事業(助成率:1/1)

2館以上の公立美術館の自主的な企画制作により開催される共同巡回展の企画検討を支援する。

(6)地域の文化・芸術活動助成事業

地方公共団体等が地域において自主的に実施する文化・芸術活動を支援するため、各プログラムの事業に対して助成を行う。

①創造プログラム(助成率:1/2以内)

地域の活性化に寄与する長期的展望を有し、発展的・継続的に事業を実施するうえで他の地域の参考となるような顕著な工夫が認められる事業(一般分)や都道府県・政令指定都市が自主事業の企画制作能力の更なる向上や周辺地域の公立文化施設に波及効果をもたらす事業(企画制作力向上特別分)

②連携プログラム(助成率:2/3以内)

単独では実施できないが、複数の団体が連携することにより初めて実施できるもので、3以上の地方公共団体等が連携して共同で制作する公演・展覧会のうち、地域交流プログラムを伴う事業

③研修プログラム(助成率:2/3以内)

公立文化施設等の企画・運営に携わる者及び地域文化コーディネーター等、地域の文化・芸術活動を担う者のスキルの向上、ノウハウの習得等を目指し、地方公共団体等が自ら主体的に企画・実施する実践的な人材育成事業

3. 情報交流・調査研究等事業

(1)情報交流事業

定期刊行物やホームページ等により、地域の文化・芸術活動に資する情報提供を行う。

①ニュースレター発行事業

地域創造と各地域の公立文化施設、制作者等の文化・芸術関係者とをつなぐ基本的な媒体として、各地域のユニークな公演・展示の情報や参考となる各地の取組事例、地域創造の事業のお知らせ等を掲載した「地域創造レター」を毎月発行する。

②雑誌発行事業

文化・芸術環境づくりのケーススタディーや公立文化施設の有効な運営方法を模索する企画記事等を内容とする雑誌「地域創造」を年1回発行する。

③各種情報提供事業

ホームページの運営を通じ、地域創造及び公立文化施設に関する各種情報や、定期刊行物に掲載した地域の文化・芸術に関する情報等を蓄積し、提供を行う。

(2)調査研究事業

地域の文化・芸術環境づくりについて全国的な視点から実態調査・分析・研究を行い、それらの成果を積極的に活用して、関係者からの相談等への対応を行う。

(3)コンサルティング事業

地方公共団体からの文化・芸術の振興による地域づくりに関する相談等に応じる。

(4)表彰事業

地域における文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりに特に功績のあった公立文化施設に対し、「地域創造大賞(総務大臣賞)」を授与し、表彰する。

4. 地域伝統芸能等保存事業

ふるさとづくりに向けた地域住民の取組や地方公共団体の文化環境づくりに資するため、地域の伝統芸能等(祭り、伝説、神話、民話、習俗等)の映像への記録・保存・収蔵、地域の伝統芸能等の継承活動の成果を発表するための公演の開催に対する助成等を行う。

(1)フェスティバル事業

①全国フェスティバル事業

地域伝統芸能等の保存・継承に関する国民的機運の盛り上げを図るため、「地域伝統芸能まつり」を開催する。

②地方フェスティバル事業(助成率:1/2以内)

地域固有の伝統芸能等を保存・継承するための公演事業を行う地方公共団体等に対し助成する。

(2)映像記録保存事業

①地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業

映像記録保存事業により作成された映像等をデジタルコンテンツ化し、インターネットで発信する「地域文化資産ポータルサイト」を運営する。

②映像記録保存事業(助成率:2/3以内)

各地域で失われつつあり、これまで記録に残されてこなかった地域固有の伝統芸能等をDVDビデオ映像等に記録・保存する市区町村に対して助成を行う。また、地域創造に映像ライブラリーを設置し、作成された映像記録を公開する。

(3)保存・継承活動支援事業

(助成率:1/2以内)

地域固有の伝統芸能等の保存・継承活動を行っている団体等への支援を行っている市区町村に対して助成を行う。

平成30年度
地域創造助成決定

●平成30年度「地域の文化・芸術活動助成事業」「地域伝統芸能等保存事業」採択事業決定

平成30年度は、「地域の文化・芸術活動助成事業」、「地域伝統芸能等保存事業」の2つの助成事業について平成29年7月中旬から9月末にかけて募集を行い、審査の結果181件の採択を決定。平成30年4月2日付けで各団体へ助成決定通知を送付しました。詳細は下記のとおりです。

◎地域の文化・芸術活動助成事業

4つのプログラムについて計213件の申請があり、自主性、新規性、発展性、地域交流プログラムの実施など、各プログラムの事業要件をすべて満たしているかどうか審査しました。

申請件数は年々増加しているものの予算額は限られている状況であり、特定の地方公共団体に偏ることなく多くの団体へ助成するため、重複申請については調整させていただきました。また、助成金決定額についても調整させていただきました。その結果、今年度は149件を採択しました。

◎地域伝統芸能等保存事業

3つの事業について40件の申請があり、地域固有の伝統芸能の保存･継承活動につながる事業かどうか、加えて「地方フェスティバル事業」では今後の継続的な活動につながるもの、「映像記録保存事業」では後世のために映像として記録・保存する必要があるもの、「保存・継承活動支援事業」では市区町村が積極的に支援を行っているものであるかどうかを審査し、32件を採択しました。

平成30年度 助成事業等決定状況（件数）

事業名	区分	H30年度 申請	H30年度 決定	H30年度 決定額（千円）	[参考] H29年度 申請	[参考] H29年度 決定
地域の文化･芸術活動助成事業	創造プログラム(一般分)	98	71	198,700	90	83
	創造プログラム（企画制作力向上特別分）	25	16	64,800	17	15
	連携プログラム	66	52	133,100	49	40
	研修プログラム	21	10	11,400	19	18
	活性化計画プログラム	3	0	0	1	0
	小計	213	149	408,000	176	156
地域伝統芸能等保存事業	地方フェスティバル事業	15	9	9,579	11	11
	映像記録保存事業	5	5	7,952	9	9
	保存･継承活動支援事業	20	18	3,921	15	14
	小計	40	32	21,452	35	34
合計		253	181	429,452	211	190

●「地域の文化・芸術活動助成事業」に関する問い合わせ
総務部　川口
Tel. 03-5573-4164

●「地域伝統芸能等保存事業」に関する問い合わせ
総務部　米山
Tel. 03-5573-4056

平成30年度

助成事業一覧

＊都道府県順に掲載（事業名、申請団体、実施時期）

地域の文化・芸術活動助成事業 149件

創造プログラム（一般分） 71件

【1年目】

●**舞台芸術によるまちづくりプロジェクト第1弾「東松山朗読劇～三題噺～」（仮）**
（公財）東松山文化まちづくり公社（埼玉県東松山市）／2019年1月

●**NANSO舞台芸術創造プロジェクト第21弾　県民参加創作ミュージカル**
千葉県／2019年2月

●**Music Program TOKYO Workshop Workshop! 2020 on stage ＆ legacy**
東京都／通年

●**杉劇アートde伝承プロジェクト**
（公財）横浜市芸術文化振興財団／2019年2月

●**文化の湖プロジェクト「ヤマガヒ（山狭）」**
山梨県／2018年7月

●**黒木岩寿プロデュース2018-2020（仮）**
（一財）長野市文化芸術振興財団（長野県）／2019年2月

●**児童・青少年のための舞台芸術フェスティバル「キッズ・サーキット in SAKU」**
長野県佐久市／2018年8月

●**OiBokkeShi×三重県文化会館「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクト**
（公財）三重県文化振興事業団／2018年12月

●**亀山ミュージカル　舞台人育成事業**
（公財）亀山市地域社会振興会（三重県）／2018年11月

●**美術館を活用した文化のある地域づくり事業**
（公財）京都文化財団（京都府）／通年

●**アートを媒介とした新しい地域コミュニティ創出の実験（仮）**
大阪市／2019年2月～3月

●**～文化の力で心豊かに～地域復興事業**
熊本市／2019年2月

【2年目】

●**SAPPORO DANCE REMIX**
（公財）札幌市芸術文化財団／2019年2月

●**演劇人育成による青森の文学魅力発信事業**
青森県／2018年11月～12月

●**舞踊・舞踏フェスティバル開催事業（石井漠・土方巽記念 国際ダンスフェスティバル実行委員会『踊る。秋田』）**
秋田県秋田市／2018年10月～11月

●**足利市民会館・附属芸術団体「足利ユースオーケストラ」発足10周年事業《ユース×バレエ》～夢いっぱい「くるみ割り人形」全二幕～**
（公財）足利市みどりと文化・スポーツ財団（栃木県）／2019年1月

●**世界ゴールド祭**
（公財）埼玉県芸術文化振興財団／2018年9月～10月

●**ちちぶオペラ「カルメン」**
埼玉県秩父市／2018年8月

●**ユースカルチャー支援事業　中学・高校生のための舞台スタッフ体験講座～みんなでツクル・ライブ～**
（公財）千葉市文化振興財団／2018年8月

●**としま文化創造プロジェクト**
東京都豊島区／2018年8月

●**SCOPE（スコープ）：せんがわ・コミュニティ・プロジェクト of 演劇**
東京都調布市／2019年2月

●**KAATキッズ・プログラム「不思議の国アリス」**
（公財）神奈川芸術文化財団（神奈川県）／2018年7月

●**地域で光る文化芸術拠点の魅力・発信事業**
富山県／通年

●**合唱創造となみ**
（公財）砺波市花と緑と文化の財団（富山県）／2019年3月

●**たじみ de 和芸**
（公財）多治見市文化振興財団（岐阜県）／2019年3月

●**子ども合唱アカデミー**
静岡県藤枝市／2018年9月

●**国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」開催事業**
愛知県／2018年11月～19年2月

●**子どもアート万博2018**
（公財）名古屋市民文化振興事業団／2018年12月

●**演劇×自分史　カスガイ創造プロジェクト**
（公財）かすがい市民文化財団（愛知県春日井市）／2019年3月

●**東海市ひとづくりパートナーシップ事業**
愛知県東海市／2018年10月、19年1月

●**市民とつくる舞台芸術プロジェクト**
（一財）ちりゅう芸術創造協会（愛知県知立市）／2018年9月

●**クラシックのいろは2018“街中がクラシック”**
（公財）伊賀市文化都市協会（三重県）／通年

●**音楽のライフロングスタディシリーズコンサート**
滋賀県日野町／2018年7月～19年3月

KAATキッズ・プログラム2017『不思議の国のアリス』
（2017年7月22日～8月6日／KAAT神奈川芸術劇場 中スタジオ）　©宮川舞子

▼— 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

●**NEW VISION―舞台芸術/ジェンダー/社会**
京都市／2018年10月
●**子どものための文化芸術プロジェクト事業**
堺市／2018年7月～8月
●**西本智実　オペラプロジェクト**
大阪府岸和田市／2019年2月
●**開港150年　神戸発！CLASSIC PLUS**
(公財)神戸市民文化振興財団／2019年2月
●**次世代へつなぐ文化芸術普及事業**
(公財)宝塚市文化財団(兵庫県)／2018年8月
●**鳥取県文化振興財団プロデュース創作公演「U-18シアタープロジェクト」**
(公財)鳥取県文化振興財団／2019年3月
●**AWA伝統芸能創造発信プロジェクト《るりゐろ絵巻》《This is 阿波踊り》**
(公財)徳島県文化振興財団／2019年2月
●**「演劇に学ぶ」プログラム2年目**
(公財)高知市文化振興事業団(高知県)／2019年2月
●**YAHATA MUSIC PROJECT ～音楽でつながる人とまち～**
(公財)北九州市芸術文化振興財団／2018年6月
●**なみきスクエア地球舞台プロジェクト**
福岡市／通年
●**長崎で楽しむオランダそしてコンセルトヘボウの魅力**
長崎県長崎市／2018年10月
●**開館20周年記念市民ミュージカル**
(一財)大村市文化・スポーツ振興財団(長崎県)／2018年8月
●**アーティスト・イン・レジデンスつなぎ**
熊本県津奈木町／2018年12月～19年2月
●**大分県民ミュージカル創造推進プロジェクト**
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団／2018年11月
●**Let's 和の音♪**
(公財)宮崎県立芸術劇場／2018年7月～8月
●**県民による創作演劇「西郷どんがやってきた」**
(公財)鹿児島県文化振興財団／2019年1月

【3年目】
●**地域劇場をフル活用！市民参加型音楽劇創作プログラム**
北海道砂川市／2019年1月
●**アンサンブルグループ奏楽コンサート～子どもたちと奏でるハーモニー～**
北海道斜里町／2018年7月
●**調査と表明**
(公財)仙台市市民文化事業団／2018年11月～19年1月
●**加川広重アートプロジェクト**
宮城県蔵王町／2018年11月～12月
●**舞踊・舞踏フェスティバル開催事業(石井漠・土方巽記念 国際ダンスフェスティバル実行委員会『踊る。秋田』)**
秋田県／2018年10月～11月
●**街の魅力発見！プラザイースト演劇アカデミア**
(公財)さいたま市文化振興事業団／2018年10月
●**上尾音楽家芸術活動支援事業**
埼玉県上尾市／2018年12月
●**新井英夫　「体奏」アウトリーチ・ワークショップ＆公演創造**
(公財)君津市文化振興財団(千葉県)／2019年2月
●**下丸子◇演劇ぶろじぇくと**
(公財)大田区文化振興協会(東京都)／2018年12月
●**越後妻有　里山パフォーマー・イン・レジデンス**
新潟県十日町市／2018年7月～10月、19年2月～3月
●**コスモホール地域交流音楽プロジェクト(3年目)ポール・メイエ＆須川展也コンサート**
(公財)入善町文化振興財団(富山県)／2018年11月
●**第2回ベストオブアンサンブル in Kanazawa**
(公財)金沢芸術創造財団(石川県金沢市)／2019年2月
●**「レジデント・アーティストプログラム～創造の交差点(仮称)～」**
長野県上田市／2018年9月、19年2月
●**マリナート・ウインズ〝響きのある街〟プロジェクト**
静岡市／2018年5月、19年3月
●**みんなで作ろう！　林 光作曲オペラ『森は生きている』**
(公財)びわ湖芸術文化財団(滋賀県)／通年
●**地域の文化・芸術活動事業**
大阪府能勢町／2018年6月、10月
●**中・高生アートチャレンジ！**
兵庫県豊岡市／2018年7月
●**再生アートプロジェクトin浜田2018**
(公財)浜田市教育文化振興事業団(島根県)／2018年10月～19年1月
●**SO-ONプロジェクト　～"宗""奏""創"**
(公財)宗像ユリックス(福岡県宗像市)／2019年3月
●**東京藝術大学×世界遺産・ミュージックキャンプの島づくりプロジェクト**
長崎県／2018年11月
●**豊後FUNAIミュージカル**
大分県大分市／2018年10月
●**ミュージカル創出事業「尚寧王」**
沖縄県浦添市／2019年1月

Let's和の音♪「はじめてのおけいこ」
(2017年7月30日～8月20日／メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)) ©T.Saita

創造プログラム(企画制作力向上特別分)　16件
●**生誕130年　佐藤玄々(朝山)展**
福島県／2018年10月～12月
●**コンドルズ千葉公演2018**
(公財)千葉県文化振興財団／2018年10月
●**オープンシアター2018**
(公財)神奈川芸術文化財団(神奈川県)／2018年6月
●**18区キッズダンスワークショップ＆ダンスパラダイス**
横浜市／2018年8月～9月
●**水と土の芸術祭2018　にいがたJIMAN伝統芸能パフォーマンス「新潟が育てた文化に学び触れて受け継ぐ」(仮称)**
新潟市／2018年7月～10月
●**ジャコバン国際ピアノ音楽祭2018 in 岐阜**
岐阜県／2018年6月
●**やっとかめ文化祭　～芸どころ・旅どころ・なごや～**
名古屋市／2018年11月
●**ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業 地域の課題を考えるプラットフォーム「CIRCULATION KYOTO～劇場編～」(仮称)**
(公財)京都市音楽芸術文化振興財団／2018年8月～19年1月
●**大阪クラシック**
大阪市／2018年9月
●**兵庫県政150周年記念事業「横尾忠則　自画自賛展」**
(公財)兵庫県芸術文化協会／2018年9月～12月
●**オペラde神戸「ラ・ボエーム」**
(公財)神戸市民文化振興財団／2019年3月

●日下八光日本画展―自然美の探求と知られざる朝鮮半島の歴史景観の世界(仮称)
徳島県／2018年9月～11月
●日本・オランダ国際共同製作「雅歌(仮)」
(公財)高知県文化財団／2018年7月
●特別企画展「三人展　Forward Stroke 明日への眼差し」(仮称)
佐賀県／2018年9月～11月
●杉本博司　天国の門―天正少年の見た夢(仮称)
(公財)長崎ミュージアム振興財団(長崎県)／2018年11月～19年1月
●渚・瞼・カーテン―チェルフィッチュ/岡田利規(仮)
(公財)熊本市美術文化振興財団／2018年4月～6月

連携プログラム　52件

●札幌・砂川・幕別音楽ネットワーク事業(仮称)
(公財)札幌市芸術文化財団、北海道砂川市、北海道幕別町／2018年10月～19年2月
●めがねと旅する美術展
青森県、島根県／2018年7月～19年1月
●狂言風オペラ2019　モーツァルト「フィガロの結婚」
青森県八戸市、山形県河北町、(公財)豊田市文化振興財団(愛知県)／2019年3月
●寺山修司没後35年記念　書を捨てよ町へ出よう
青森県三沢市、東京都、長野県上田市／2018年10月～11月
●ピノキオの動物園
(一財)北上市文化創造(岩手県)、埼玉県秩父市、釜石まちづくり株式会社(岩手県釜石市)、(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団(神奈川県)／2018年12月～19年1月
●新 伝統舞踊劇 マハーバーラタ2018
(公財)仙台市市民文化事業団、千葉県流山市、(公財)多摩市文化振興財団(東京都)、(公財)金沢芸術創造財団(石川県金沢市)、長野県茅野市／2018年6月・9月
●愛知県芸術劇場・SPAC(静岡県舞台芸術センター)共同企画『寿歌』全国ツアー
(公財)ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社(茨城県)、(一財)こまき市民文化財団(愛知県小牧市)、(一財)ちりゅう芸術創造協会(愛知県知立市)、熊本県長洲町／2018年5月～6月
●フィリップ・ドゥクフレ　カンパニー　DCA「NOUVELLES PIÈCES COURTE」
(公財)埼玉県芸術文化振興財団、(公財)びわ湖芸術文化財団(滋賀県)、(公財)北九州市芸術文化振興財団／2018年6月～7月
●ブルガリア国立歌劇場オペラ
(公財)越谷市施設管理公社(埼玉県)、(公財)福井県文化振興事業団、山口県／2018年10月
●Doosan Art Center+東京デスロック+第12言語演劇スタジオ「가모메　カルメギ」
(公財)キラリ財団(埼玉県富士見市)、(公財)三重県文化振興事業団、(公財)いたみ文化・スポーツ財団(兵庫県伊丹市)／2018年7月
●「竹取物語(仮)」
(公財)せたがや文化財団(東京都世田谷区)、(公財)福岡市文化芸術振興財団、(公財)熊本県立劇場／2018年10月～11月
●Noism×SPAC 劇的舞踊vol.4『ロミオ&ジュリエット』
(公財)新潟市芸術文化振興財団、富山県富山市、(公財)静岡県舞台芸術センター／2018年7月
●兵士の物語
(一財)松本市芸術文化振興財団(長野県)、(公財)大垣市文化事業団(岐阜県)、(公財)兵庫県芸術文化協会／2018年9月～10月
●名作童話をもとにした創作劇による地域交流事業
岐阜県関市、愛知県豊川市、愛知県長久手市／2018年8月～9月
●「(仮称)1980年代の日本美術」
(公財)静岡市文化振興財団、香川県高松市／2018年7月～19年3月
●オペラ「ヘンデルとグレーテル」
(一財)摂津市施設管理公社(大阪府)、兵庫県姫路市、兵庫県篠山市、(公財)童謡の里龍野文化振興財団(兵庫県たつの市)／2018年9月～10月、19年1月～3月
●仙台フィルハーモニー管弦楽団「大いなる秋田」公演
秋田県(連絡調整事業)

研修プログラム　10件

●北海道演劇人育成事業
(公財)北海道文化財団／2018年12月～19年2月
●音楽ファシリテーター養成講座
(公財)千葉市文化振興財団／2018年11月
●～福井市文化会館50周年事業～福井市文化会館　アウトリーチ実践講座
福井県福井市／2018年11月
●劇場に関わる人のためのアーツマーケティング・ゼミ「あーとま塾2018」
(公財)可児市文化芸術振興財団(岐阜県)／2018年5月、10月、19年1月
●静岡県公立ホール連携支援研修事業(仮称)～各館連携と地域の文化振興～
(公財)静岡県文化財団／通年
●愛知県芸術劇場　平成30年度舞台芸術人材養成ラボ
(公財)愛知県文化振興事業団／通年
●舞台専門人材育成事業「ステージテクニカルアカデミー2018」
(公財)しまね文化振興財団(島根県)／2018年10月～19年3月
●真庭人材育成事業　「真庭の文化を考える」(仮称)
(公財)真庭エスパス文化振興財団(岡山県真庭市)／2018年6月～9月
●内子座「音響・照明・話し方」講座
愛媛県内子町／2018年8月～11月
●emoスタッフ・OPAMサポーター研修育成事業
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団／通年

地域伝統芸能等保存事業　32件

地方フェスティバル事業　9件

●あきた民謡祭2018
秋田県
●埼玉伝統芸能フェスティバル
埼玉県
●第35回越谷市郷土芸能祭
埼玉県越谷市
●かながわ伝統芸能祭「かながわこども民俗芸能フェスティバル」及び「かながわの地芝居」
神奈川県
●結の故郷・小学生ふるさと芸能発表会
福井県大野市
●2018「広島神楽」定期公演
広島県
●吉野川市伝統芸能の祭典&トークショー
徳島県吉野川市
●「筑前琵琶演奏会2018(仮)」
(公財)福岡市文化芸術振興財団
●第9回 読谷村民俗芸能祭
沖縄県読谷村

映像記録保存事業　5件

●北高倉の獅子舞
福島県郡山市
●茂原の獅子舞
福島県二本松市
●小栗内外大神宮太々神楽
茨城県筑西市
●館山市の御船歌
千葉県館山市
●加羅宇多姫伝説
徳島県三好市

保存・継承活動支援事業　18件

●山形県鶴岡市
●福島県会津美里町
●埼玉県川越市
●東京都昭島市
●東京都国立市
●神奈川県川崎市
●神奈川県厚木市
●神奈川県三浦市
●神奈川県松田町
●新潟県上越市
●富山県富山市
●福井県福井市
●長野県佐久市
●静岡県伊豆の国市
●愛知県犬山市
●大阪府河南町
●福岡県福津市
●熊本県宇城市

財団からのお知らせ

●平成31年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」実施団体募集

この事業は、公共ホールを拠点として、コンテンポラリーダンスのアーティストを地域に派遣し、専門家のコーディネーターのサポーターのもと、ホールとアーティストが共同で企画した地域交流プログラムや公演を実施する事業です。

コンテンポラリーダンスがもつ自由な表現と、言葉を使わない身体によるコミュニケーションには無限の可能性があり、地域住民に向けたさまざまなアプローチが可能で、地域やホールの特性を生かしてその地域ならではの企画をつくり上げることができます。

平成29年度にプログラムをリニューアルし、ダンス事業実施のビジョンに基づいてA、B、Cの3つのプログラムを、年度ごと段階的に選択して継続的に事業を実施することが可能になりました。さらに、当財団が負担する経費を増額し、より取り組みやすくなっています。なお、これまでにダン活を実施した団体も対象となります。

詳細は、実施要綱と同封のチラシをご参照ください。

また、関心のあるホール等の皆様には資料をお送りしますので、お問い合わせください。

皆様のご応募をお待ちしています。

募集締切：平成30年6月1日（金）必着

◎Aプログラム（地域交流プログラム）

原則として、4日間で学校や福祉施設等でのアウトリーチ、公募型ワークショップを4～5回実施するプログラムです。

◎Bプログラム（市民参加作品創作プログラム）

原則として、4日間＋5日間など全9日間の日程を2回に分け、市民参加作品を創作し有料公演を実施するプログラムです。また、併せて公募型ワークショップを1回実施します。

◎Cプログラム（公演プログラム）

原則として、4日間で登録アーティストのレパートリー作品の有料公演を実施するプログラムです。また、併せて公募型ワークショップを1回実施します。

平成31年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」プログラム概要

	Aプログラム	Bプログラム	Cプログラム
対象団体	地方公共団体、指定管理者、公益財団法人　等		
事業日程	4日間	4日間＋5日間など （7泊9日以内の事業日程）	4日間
事業内容	①アウトリーチ(3回) ②公募型ワークショップ(1回) ①②を合わせて4～5回	①公募型ワークショップ(1回) ②市民参加作品の有料公演(1回) ※クリエーションワークショップを重ねて作品を創作します。	①公募型ワークショップ(1回) ②アーティストのレパートリー作品の有料公演(1回)
経費負担 支援内容	•アーティストの派遣経費（出演料等、交通費、宿泊費、日当、損害保険料） •コーディネーターの派遣 •全体研修会（事業実施に必要なノウハウ等の研修）の開催		
		•公演負担金として、実施団体が支出した事業実施に係る対象経費の2/3以内（上限50万円）を負担	

●事業実施要綱および事業申込書等は、当財団ウェブサイトに掲載しています。
http://www.jafra.or.jp/j/guide/box/

●「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」に関する問い合わせ
芸術環境部　栗林・佐藤・岩藤
Tel. 03-5573-4055・4075・4077
dankatsu@jafra.or.jp

※お詫びと訂正
前号（2018年4月号）p3「今月のニュース」（ステージラボ横浜セッション）本文の末尾が欠落していました。お詫びするとともに、ここに改めて掲載いたします。
「（略）～東京藝術大学特任教授の新井鷗子さんによる最新のインクルージョン事業の紹介も行われました。」
また、前号p5「財団からのお知らせ」（ステージラボ滋賀セッション参加者募集）のコース名に誤りがございました。お詫びして訂正させていただきます。
【誤】自主事業（音楽コース）（定員20人程度）［コーディネーター］津村卓
【正】自主事業入門コース（定員20人程度）［コーディネーター］津村卓

財団からのお知らせ

●平成31年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」応募方法　※代表団体は2回に分けて応募する必要があります。
◎代表団体応募
代表団体は、事業申込書および参考資料（公演企画書、作品の映像または台本）を添付して、郵送にてお送りください。
◎参加団体応募
代表団体は、事業申請書、副申書、予算書および参加意向票（代表団体が取りまとめの上）を郵送にてお送りください。
＊詳細は当財団ウェブサイトより実施要綱をご覧いただき、申込書等の様式はダウンロードしてください。
http://www.jafra.or.jp/form_box/form/detail/category_id/12/
◎申し込み・問い合わせ
芸術環境部　梅田・藤原・水上
Tel. 03-5573-4076

●ウェブサイトに関する問い合わせ
芸術環境部　高澤・三田
Tel. 03-5573-4068・4066

●平成31年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」実施団体募集のお知らせ

この事業は、複数の公共ホールが連携して共同で演劇公演（再演作品に限る）と地域交流プログラムを開催する事業です。本事業をご活用いただくことで、単独の公共ホールでは予算的に実施の難しい演劇公演を、複数のホールがネットワークを組むことによって負担を軽減できます。当財団が対象経費の3分の2（上限1,200万円）を助成し、各ホールが残りの経費をシェアします。また、制作ノウハウを現場体験として習得できます。さまざまな公共ホールが一堂に会し、公演実施にあたっての課題等を共有し解決していくことによって、今後のホール事業制作に役立てることができます。

平成31年度に複数の公共ホールと共に事業を実施する代表団体（公共ホール等）を募集します。代表団体の募集・選定後、31年度事業実施候補となる代表団体名と公演作品名を、当財団ウェブサイトにて公開します。参加を希望する団体（参加団体）は代表団体に直接連絡し、代表団体が参加団体を取りまとめて、当財団へ申請してください。応募団体の中から事業の実現性、予算額、実施時期等を検討して、事業実施団体（代表団体＋参加団体）を原則1団体決定します。

・代表団体募集期間：
平成30年4月25日（水）～6月29日（金）
・参加団体申込締切：
平成30年8月17日（金）必着
※各応募・申込方法は左記データ欄をご覧ください。

●平成29年度事業報告書　ウェブサイト公開のお知らせ

平成29年度の各事業報告書を、当財団ウェブサイトで公開しています（PDF版）。下記URLで閲覧・ダウンロードが可能です。

http://www.jafra.or.jp/j/library/business_report/

地域創造が運営しているウェブサイトは、地域の文化・芸術に関する情報をより広く提供することを目的に、当財団の概要・事業紹介のほか、財団が発行するニュースレター、雑誌、調査研究報告書を掲載し、地域の最新の動向・活動等をお伝えしています。また各事業の申請書や様式をダウンロードすることができます。地域における文化・芸術活動の情報収集、公立文化施設の活性化や芸術環境づくりに、ぜひご活用ください。

●平成29年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」終了報告

平成29年度から事業内容をリニューアルしたダン活を、13地域で実施しました。

Aプログラムは4地域が実施しました。アウトリーチ先は学校をはじめ、保育園、学童、児童養護施設など子どもたちを対象にしたものから、地域の高齢者グループ、障がい者支援施設、行政職員や教職員を対象にしたものまで、多種多様な展開が見られました。対象地域を限定し、その地域の異なる複数のコミュニティにアウトリーチを行うことで、体験を共有し関係の構築を行う環境をつくる、といった積極的な試みも見られました。

Bプログラムを実施したのは7地域。その時その場でしか起こりえない体験ができる生の舞台芸術の魅力を、参加者・鑑賞者を含めた各地域の市民の方々、アーティスト、ホールとで共有し、公演を通じて繋がりをつくることができました。廃校になる小学校の児童全員が出演し、皆でひとつのことを成し遂げる経験を味わったり、男子高校生とシニア層の女性が手を繋いで踊るなど、日常ではなかなか出会うことのない人同士の絆を深めることができたりと、それぞれの地域でしかできない公演をつくり上げました。

Cプログラムは、2地域が実施しました。新規客層の開拓や、未知のものに対する新たなインパクトを打ち出すことを目的にアーティストの公演を実施し、その魅力を伝えました。今後の活動や取り組みへの糧となる公演となり、継続的な事業実施への意欲も生まれています。

いずれのプログラムの場合も、ホール、そしてダンスを身近に感じていただき、事業を通じて地域のコミュニティを活性化していくという各担当者の強い意志がうかがえました。普段はホールとは縁遠い存在に対してアプローチを仕掛けていく、異なるジャンルとのコラボレーションを試みるなど、意欲的な挑戦も見られ、ダン活の3つのプログラムの実施を見据えた取り組みが行われました。引き続きダン活を実施するホールのさらなる展開が楽しみです。

上・川根本町福祉センターでのアウトリーチ（Aプログラム・川根本町文化会館／アーティスト：東野祥子）／下・市民参加作品『20のカラダの証』（Bプログラム・上田市交流文化芸術センター／アーティスト：鈴木ユキオ）　©Shinichiro Saigo

▼—今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

地域通信

●データの見方
情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック
[北海道・東北]北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
[関東]茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
[北陸・中部]新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
[近畿]三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
[中国・四国]鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
[九州・沖縄]福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先
ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060　Tel. 03-5573-4068
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当　高澤・三田

●2018年7月号情報締切
5月30日(水)

●2018年7月号掲載対象情報
2018年7月～9月に開催もしくは募集されるもの

地域創造ウェブサイト「人材ネットバンク」掲載情報募集中
当財団ウェブサイト内に以下の情報を掲載するページを設けています。
◎公共ホール等の求人情報
◎公共ホール等で実施する人材育成研修の開催情報
掲載・申込方法など詳細はウェブサイトをご覧ください。　http://www.jafra.or.jp/

関東

●さいたま市
さいたま市　プラザノース
〒331-0812　さいたま市北区宮原町1-852-1
Tel. 048-653-9255　安藤肇
http://www.plazanorth.jp/

ノースであそぼう！あーとひろばの日2018
さまざまなジャンルのアートが楽しめるイベント。7回目の今回は、昨年好評だったデジタルアートや、金属を素材として扱う2人のアーティストによる展覧会、ワークショップが行われ、ものづくり体験ブースや音楽・ダンス体験ブースではさまざまなアート体験ができる。オープンアトリエ、打楽器体験などのイベントには事前申し込みの必要がなく、気軽に参加できる。
[日程]5月12日～20日(14日を除く)
[会場]さいたま市　プラザノース

●埼玉県川口市
川口市立アートギャラリー・アトリア
〒332-0033　川口市並木元町1-76
Tel. 048-253-0222　秋田美緒
http://www.atlia.jp/

地域の中のアートな居場所 Aplus×ATLIA
閉校となった市内の中学校校舎を再活用したスタジオを利用するアーティスト集団「アプリュス」の活動記録と、そのスタジオで制作された作品を展示。2014年から始まるおよそ5年間のプロジェクト成果展として開催され、近年の川口市のアートシーンの一端に触れられる。会期中にはスタジオを見学できるツアーもあり、アーティストや制作現場を身近に感じることができる。
[日程]4月7日～5月20日
[会場]川口市立アートギャラリー・アトリア

北陸・中部

●長野県飯田市
飯田文化会館
〒395-0051　飯田市高羽町5-5-1
Tel. 0265-23-3552　中島弘貴
http://www.iida-oketomo.com/

オーケストラと友に音楽祭2018
名古屋フィルハーモニー交響楽団と市民が一緒に企画する音楽祭。地元音楽団体の企画によるコンサートや、名フィルによる「名曲コンサート」「小学生のための音楽ひろば」、名フィルメンバーが地域に出て小編成のアンサンブルで演奏する「コミュニティーコンサート」など多彩なプログラムを展開。音楽クリニックの受講生が成果を披露する「クリニックコンサート」には、10周年特別企画として過去の受講生も参加する。
[日程]4月30日、5月3日～5日
[会場]飯田文化会館、飯田人形劇場ほか

●静岡市
静岡県文化財団
〒422-8019　静岡市駿河区東静岡2-3-1
Tel. 054-203-5714　渡邊麻恵
https://www.granship.or.jp/

グランシップこどものくに～へんてこりんハウス～
毎年テーマを替えて開催している未就学児を対象とした参加型イベント。13回目の今回は、日常の“うごき”がテーマ。会場に現れた「へんてこりんハウス」に忍び込み、こびとのぼうしづくりや調理器具で音楽を奏でるといったアート体験をするほか、グランシップサポーターによる「こどもあそび」や身体を動かす「からだあそび」、静岡市児童館によるワークショップなど、さまざまな体験メニューを予定。
[日程]5月3日～6日
[会場]静岡県コンベンションアーツセンター　グランシップ

近畿

●大阪府八尾市
やおミュージックフェスティバル2018実行委員会事務局
〒581-0803　八尾市光町2-40(八尾市文化会館内)
Tel. 072-924-5112　井上恵理子
http://yaofes.com

やおミュージックフェスティバル2018
八尾市制施行70周年、八尾市文化会館開館30周年にあたり、本間昭光ほか日本の音楽シーンで活躍する八尾にゆかりのアーティストたちが発起し、初めて開催されるフェスティバル。出身アーティストの凱旋祭や地元アーティストによるリレーライブ、ワークショップなど多彩なプログラムが会館すべてのフロアを使って行われ、“やおのええとこ”を伝える。
[日程]5月19日、20日
[会場]八尾市文化会館プリズムホール

中国・四国

●広島県福山市
ばらのまち福山国際音楽祭実行委員会
〒720-8501　福山市東桜3-5
Tel. 084-928-1117　鈴木美里
http://fukuyama-music-fes.jp/

ばらのまち福山国際音楽祭2018
福山市が初開催する音楽祭。メイン会場のふくやま芸術文化ホールでの演奏会のほか、市内11カ所の会場で「まちなかつながるコンサート」と題して多彩な公演が行われる。世界中からプロの演奏家が出演するほか、市民団体も参加して、福山を盛り上げる。まちなかが音楽であふれる3日間となる。
[日程]5月2日～4日
[会場]ふくやま芸術文化ホールほか

＊地域創造レターは再生紙を使用しています

兵庫県伊丹市

第32回伊丹市民オペラ定期公演『セヴィリアの理髪師』

『セヴィリアの理髪師』
写真提供：伊丹市民オペラ公演実行委員会

●第32回伊丹市民オペラ定期公演「セヴィリアの理髪師」（全2幕イタリア語上演・日本語字幕付）
［主催］伊丹市民オペラ公演実行委員会、公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団
［会期］2018年3月25日
［会場］東リ いたみホール 大ホール
［指揮］加藤完二　［演出］井原広樹　［合唱指揮］岩城拓也　［演奏］伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団　［合唱］伊丹市民オペラ合唱団
※関連企画：「合唱講座」（全5回／72人）、「マスタークラス」（全4回）、「プレトーク」など

●伊丹アイフォニックホール（伊丹市立音楽ホール）
メインホール（502席）、2つの小ホール（各120m²、可動式70席）、練習室3室などを備える。指定管理者は公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団（1992年設立）。

＊1　伊丹市では、1987年に「伊丹市芸術・文化振興基金」を設置し、独自性が感じられる都市イメージの構築、伊丹のアピールに重点をおいた施策として「劇場都市」を推進。

＊2　オーディションで選ばれた団員約100人が在籍するプロ・アマチュア混合編成楽団。定期演奏会や市民オペラでの演奏など年4回前後のコンサートを行う。また、年間60～70回、保育園や幼稚園、福祉施設でのミニコンサートなどアウトリーチ活動も積極的に実施。

＊3　1985年に伊丹市の文化事業としてスタートし、伊丹市立文化会館（現愛称・東リ いたみホール）で毎年公演（95年は阪神・淡路大震災のため中止）。91年以降は伊丹アイフォニックホールが事務局として制作を担い、『フィガロの結婚』『カルメン』『椿姫』などの人気演目を取り上げてきた。第2回公演から加藤完二指揮、桂直久演出。第29回から井原広樹演出。市民オペラとしては国内有数の上演回数を誇る。

「音楽による多文化理解」と「市民のための音楽広場」としての事業が評価され、平成29年度の地域創造大賞（総務大臣賞）を受賞したのが伊丹アイフォニックホールだ。1987年、大阪・神戸に近い人口約20万人の伊丹市は「劇場都市」(*1)を宣言。88年には全国に先駆けて自主事業に力を入れる演劇専用のアイホール、91年には音楽専用のアイフォニックホールを開設。個性ある事業を展開してきた。

アイフォニックでは、民族音楽を紹介する「地球音楽プログラム」を継続するとともに、長年、伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団(*2)をはじめとした市民の音楽愛好家の活動拠点となってきた。そうした市民参加を象徴する取り組みが、今年で32回目を迎えた伊丹市民オペラだ(*3)。3月25日、その最新作『セヴィリアの理髪師』を取材した。

●

会場となったのは、アイフォニックから徒歩2～3分の所にある東リ いたみホール。「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」首席指揮者としても活躍する加藤完二指揮による息の合った演奏、本格的な美術に衣裳、オーディションにより選ばれた関西を拠点に活動する若手実力派ソリストによるコミカルな歌声、関西歌劇団の井原広樹によるセヴィリア市民や兵士に扮した市民合唱団の躍動感ある演出で、会場を埋めた約1,000人の市民たちを楽しませていた。

「若手音楽家育成」「市民参加」を基本に市民オペラがスタートしたのは1985年。オペラの演奏を市民で行うことを目的に、90年には市の全面協力によりシティフィルを結成。小宮正照団長は、「オペラという高い技量が求められる目標があることで切磋琢磨してきた」と言う。

伊丹市民オペラ公演実行委員会の森川華世副会長は、「ソリストや市民合唱団は基本的に毎回公募によるオーディションで選考している。声楽家にとってオペラの出演機会は決して多くなく、女性ソリストの公募では10数倍になることもある。市民参加が基本なので、初心者でも応募できるように公募前にはイタリア語の発音や音符の読み方など初歩から教える『合唱講座』も行っている」と話す。

森川は伊丹市少年少女合唱団に参加し、市民オペラを見たことから声楽家の道に進み、音大卒業後に市民オペラでソリストデビューを飾ったという劇場都市の申し子とも言える存在だ。今では、合唱講座の講師として音楽愛好家の裾野を広げている。

これだけ本格的な市民オペラが長年にわたって継続できたのは、アイフォニックという拠点があったことで市民の立場で音楽を楽しむ森川のような愛好家が何人も育ち、日頃から交流していることが大きい。例えば、同じく実行委員に名前を連ね、広報を担当している村上有紀子もそのひとりだ。「9年前、市民オペラの合唱団の募集を知って、オペラ好きの父が喜ぶと思って応募した。そしたらすっかりハマってしまい、本格的に声楽を学びたくて40歳で音大生になった」と笑う。

また、市民合唱のベースにもなっている伊丹市コーラスグループ連絡協議会の朝山典子代表幹事は、「伊丹市は合唱の層が厚く、協議会加盟団体だけで28団体ある。アイフォニックでの市民合唱祭という檜舞台が大きな励みになっている。当たり前のように感じているが、伊丹だからこれだけ充実した環境で活動できているのだと思う」と言う。

太田裕也館長は、「指定管理者制度導入で、特色ある事業だけでなく、市民の音楽活動への支援にも力を注いでいる。中でも、市民オペラやシティフィル、コーラスグループ連絡協議会の事務局を担い、各団体と共に音楽の裾野を広げる活動を展開している。大変だが、アイフォニックの役割として積極的に取り組み、ホールに留まることなく、まちなかにも活動の場を広げていきたい」と言い、すでに決定している今年度のオペラ『カヴァレリア・ルスティカーナ』『道化師』の打ち合わせに向かった。

村上も朝山も、「市民オペラと親の背中を見て育った子どもが音大に通うようになった」と笑う。ご近所さん同士がオペラを嗜む――暮らしと地域と音楽が切り離されない劇場都市の蓄積とはこういうことなのかもしれない。　（田中健夫）